

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 22 日 更新

事務事業名		調整池等管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施 策	18	住環境の充実			所属課	建設課	担当者名	米澤 智弥
	施策の柱	56	環境衛生の充実			所属班	維持管理班	(内線)	5253
予算科目		会計一般	款 8	項 3	目 1	事業連番 10003	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	道路排水施設である雨水調整池や市内河川の維持管理を実施する事業。 調整池等管理業務、護岸雑草処理、調整池維持管理負担金の支払い。 調整池及び護岸管理を放置すれば、事故や災害発生の要因となるため、市で管理を行う。
【業務の流れ】	調整池管理業務：設計積算→見積徴収→契約→完了検査→支払い、維持管理負担金支払、護岸雑草委託説明会→契約→確認→支払い 調整池のフェンス等の安全確認。
【主な予算費目】	委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	雑草等による住環境悪化を懸念した苦情がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 調整池管理業務委託及び水利組合等への護岸雑草処理業務委託を行った。 また、セミコンテクノパーク調整池の管理について、菊陽町と協議し、実施状況を確認のうえ負担金を適正に処理した。 調整池管理委託 実績：64箇所 護岸雑草処理委託 実績：9件		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 調整池管理委託業務の発注。調整池維持管理負担金の支払い。調整池フェンスの点検。護岸雑草処理委託の発注。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) (単位) → ア 調整池管理箇所数 イ 護岸雑草処理面積		予算の主な増減の理由 箇所 調整池管理業務委託の作業量増による委託料の増 m	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア 市民数 イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 大雨時に水害を防ぐため、調整を行い排水する。		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア 調整池の機能が満たされていない数 イ 護岸雑草の苦情件数 箇所 件	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 水害を最小限に留めるため調整池の維持管理が適正に行うことが目的である。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
投 入 費 用	事 業 費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	1,102	1,080	1,080	1,118	1,118	1,245	1,245
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	7,529	8,033	9,063	8,507	9,383	8,636	9,038
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	8,631	9,113	10,143	9,625	10,501	9,881	10,283
		(A)のうち指定経費	千円	2,411	2,401	2,758	2,200	2,509	2,550	2,550
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	6	5	6	5	5	5
入 費 用	人 件 費	延べ業務時間	時間	920	900	900	820	900	900	900
		(B) 人件費計	千円	3,597	3,425	3,585	2,986	3,585	3,585	3,585
	トータルコスト(A)+(B)		千円	12,228	12,538	13,728	12,611	14,086	13,665	13,868

事務事業名	調整池等管理事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 随時、維持管理を行うことで、水害から市民の財産と生命を守ることができる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 維持管理事業は、安全を維持するものである。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 管理業務は適正な設計積算を行っており削減の余地はない。負担金については金額確定しているため削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現在必要最低限の人件費にて業務を行っている。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全ての住民に公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 水害を最小限に留めるための調整池であることから、市民、財産を守るのは市の責務でもあることから、行政が管理すべきものである。

3 評価結果の総括（CHECK）

調整池の機能維持、及び護岸の管理など適切に管理ができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<